

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301123	教育相談(カウンセリングを含む) Education Counseling	竹重 幸	専門	2	選択	3年 後期
科目の概要						
<p>学校教育との関わりの中で、児童・生徒や保護者を正しく理解し、援助・支援する具体的な方法としてのカウンセリング技術を学び、関係性の中での援助アプローチの実際を体験的に学ぶ。一人一人の子供が学校生活で出会うさまざまな問題の解決を援助し、自己理解・他者理解を深め、他者との信頼関係を構築する力を養うために、(1)直接生徒を援助するカウンセリング、(2)生徒の教師や保護者や学校に働きかけるコンサルテーション、(3)心理アセスメントについて、臨床心理学の基礎の上に理論を学び具体的な教育相談の方法について理解する。</p> <p>さらに不登校・いじめ・非行・発達障害・虐待の現状把握に対して、独自の問題意識を感じ、自らの考えや対処方法を発想できる力を養う。</p>						
学修内容			到達目標			
① 教育相談の基礎的事項について学ぶ。 ② カウンセリング理論および技法について学ぶ。 ③ 不登校・いじめ・非行・発達障害・虐待の知識を深める ④ ③について問題意識とその対処について考える。			① 教育相談の基礎的事項を説明することができる。 ② カウンセリング理論および技法を説明することができる ⑤ 不登校・いじめ・非行・発達障害・虐待の知識を深めることができる。 ④ ③について問題意識と対処についてイメージできる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	技術(学習)の修得のために自ら練習をすることができる。				
	働きかけ力	助けてほしいときに素直に他者に求めることができる。および助けることができる。				
	実行力	期限内に最後までやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつ習慣をもつことができる。				
	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。				
	創造力	オリジナリティな思考(発想)をもち、多角的なものの見かたができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	人の意見を聞くことができる。				
	柔軟性	多様性を理解できること。つまり、異なる意見や価値観に対応することができる。				
	状況把握力	自己の課題遂行のみではなく、他者性になることができ、協同作業を円滑に進めることができる。				
	規律性	集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	ストレスに対する抵抗するすべを自分なりに発見することができる。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキストは前期終了後決定。 参考文献:生徒指導提要 文部科学省 教育図書 エッセンス学校教育相談心理学 石川正一郎・藤井泰(編著) 北大路書房</p>						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:発達心理学、教育心理学						
学修上の助言			受講生とのルール			
1 講義につき、問題意識と修得したことを必ず1つは持って帰ること。			欠席をしないこと。受講すると決めるならば最後まで参加することが大切です。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	40	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	
		⑤	
			教育相談の基礎的事項について説明することができるかを評価する。 カウンセリング理論および技法を説明することができるかを評価する。 いじめ・不登校・虐待等の問題の現状把握とその対応について自分の考えを述べるることができるかを評価する。
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	30	①	✓
		②	✓
		③	✓
			グループワークへの取り組みを評価する。 出席をすること。 6回以上の欠席は0判定となる。 (主体性)技術(学習)の修得のために自ら練習をすることができる。 (実行力)期限内に最後までやり遂げることができる。 (課題発見力)ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつ習慣をもつことができる。 (創造力)オリジナリティな思考(発想)をもち多角的なものの見かたができる。 (発信力)聞き手にわかりやすく伝えることができる。 (傾聴力)人の意見を聞くことができる。 (規律性)集団のルールを守ることができる。
その他	30	①	✓
		②	✓
			予習課題および振り返り課題を評価する。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)A(優)及びの基準	到達レベル B(良)及びC(可)の基準
<p>教育相談における基礎的事項について説明することができる。教育現場の諸問題の現状について、最新の統計データを用いて説明することができ、その対応について論じることができる。</p> <p>(S)以上9割以上達成できる。 (A)以上8割以上達成できる。</p>	<p>教育相談における基礎的事項について説明することができる。</p> <p>(B)以上9割以上達成できる。 (C)以上8割以上達成できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 教育相談の意義と役割	講義 グループワーク	教育相談の意義と役割について理解できる。	授業内容を振り返る	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
2週 /	教育相談と生徒指導	講義 グループワーク	教育相談と生徒指導との違い、教師とスクールカウンセラーの違いについて理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
3週 /	児童生徒の心理と発達	講義 グループワーク	児童生徒の心理とは断つについて理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
4週 /	発達障害の理解と対応	講義 グループワーク	発達障害を知り、理解することができる	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
5週 /	心理テスト	講義 グループワーク	心理テストを知り、どのような評価をするのか理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
6週 /	カウンセリング理論と技法	講義 グループワーク	カウンセリング理論・技法について理解することができる	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
7週 /	開発的教育相談(1)	講義 グループワーク	グループワークを中心に人間を理解する方法を学ぶことができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
8週 /	開発的教育相談(2) (児童虐待問題)	講義 グループワーク	課題に問題意識を感じ、自分なりの対処について考えることができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題 発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・計画力・創造力・発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	少年非行と体罰問題	講義 グループワーク	非行・暴力行為の現状と対応について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
10週 /	いじめの現状把握	講義 グループワーク	いじめの現状について把握することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
11週 /	いじめの対応	講義 グループワーク	いじめ・虐待について対応を理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
12週 /	不登校の現状把握と対応	講義 グループワーク	不登校の現状把握とその対応について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
13週 /	学校内外の連携	講義 グループワーク	学校内外の連携について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
14週 /	キャリア教育	講義 グループワーク	キャリア教育とは何か理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	教師のメンタルヘルス	講義 グループワーク	教師のメンタルヘルスの必要性について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・計画力・創造力・発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力